

東みよし町 事務事業評価シート

評価年度	令和5年度	事業年度	令和4年度
------	-------	------	-------

1 事務事業の概要

事務事業名	小中一貫教育(徳島モデル)推進事業		整理番号	1313-004		
第2次 総合計画体系	政策目標	2 豊かな心を育むまち	担当部署	学校教育課		
	分野別施策	1 学校教育の充実	所属長	大西 輝明		
	主な施策	1 特色ある教育活動の推進	電話番号	79-3630		
根拠法令等						
事業実施方法区分	<input checked="" type="checkbox"/> 町直営	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<input type="checkbox"/> 補助金等	
事業継続年数	事業開始年度	平成27年度	<input type="checkbox"/> 5年以内	<input checked="" type="checkbox"/> 6年～10年	<input type="checkbox"/> 11年～20年	<input type="checkbox"/> 21年以上

2 事務事業の目的・内容・成果

事務事業の対象 <small>具体的に誰(なに)を</small>	町内公立幼小中学校 園児・児童・生徒・教職員	対象者	同左
事務事業の目的 <small>どのような状態にしたいのか</small>	小規模校の良さを生かし、各幼小中学校の人的・物的資源を相互に活用しながら子どもたちの多様な学びを保障する。		
事務事業の内容 <small>どのような方法・手段で 事務事業を行ったか</small>	徳島県からの委託契約により、町内幼小中学校で小中一貫教育(チェーンスクール)の取り組みを推進する。 「幼小中一貫教育部会」「外国語部会」「SWPBS部会」「情報教育部会」の4つの研究部会に新たに「体力向上部会」、「健康教育部会」を加え6部会となった。幼小中教員が連携して各部会の課題研究に取り組み、その結果を2つの学園で共有しながら本事業の推進に取り組んだ。		
事務事業の成果 <small>結果・実績はどうか</small>	それぞれの部会での取り組みで、小中教職員の連携がスムーズにできるようになった。 新しく設置した2つの部会においても、本町の課題解決のための対策を協議し共有することができ、9年間を通して取り組んでいく体制を作ることができている。		
特記事項			

3 事業費の推移と評価対象年度経費

	令和3年度	令和4年度(評価対象年度)	令和5年度(見込)
事業費【(a)～(e)の合計】	268,897 <small>うち繰越分↓ 0</small>	341,070 <small>うち繰越分↓ 0</small>	278,000 <small>うち繰越分↓ 0</small>
財源内訳	国庫支出金(a)		
	県支出金(b)	268,897	341,070
	地方債(c)		
	その他(d)		
	うち受益者負担		
	一般財源(e)		
特定財源の名称・金額	小中一貫教育(徳島モデル)推進事業 委託金 341,070円		
令和4年度 経費の内訳 <small>事務事業に係る経費の詳細</small>	予算科目(歳出区分) 会計 1 一般会計 款 9 教育費 項 1 教育総務費 目 3 義務教育振興費 需用費(消耗品費) 74,400円 役務費(通信運搬費) 7,260円 使用料及び賃借料(自動車借上料) 259,410円		
備考			